

令和2年度「在宅医療・介護関係者研修会」を開催しました

テーマ：「新型コロナウイルス感染症について」

開催日：令和2年11月26日（木）19時～20時

会場：諫早医師会館（諫早市永昌町23番23号）

講師：福島喜代康先生（日赤長崎原爆諫早病院院長）

- 講演内容：
1. 新型コロナウイルスの流行状況
 2. 新型コロナウイルスについて
 3. 新型コロナウイルス感染症の診断
 4. 新型コロナウイルス感染症の治療
 5. 新型コロナウイルスの感染対策



今回はコロナ禍での研修ということで、Zoomを使ったリモート研修となりました。

事業所単位での申込みをお願いしたところ、59事業所・施設からの申し込みがあり、概ね160名の皆さんが視聴してくださいました。

福島院長先生には「新型コロナウイルス感染症について」をテーマに、診断や治療の最新情報や長崎県の現状、そして感染予防対策について詳しくお話いただき、参加者からの質問にも分かりやすく丁寧にお答えいただきました。

県内でも感染者が日々報告されるようになり、第3波が長崎にもじわじわと迫ってきている中での研修会では、これまでの情報を整理、確認することもでき、これからまた気を引き締めて、それぞれがマスク・手洗いの基本を確実に行っていかなければならないことを再認識することができました。

参加された方からは「コロナについて漠然と理解していたことが、ずいぶん明確になって大変よかった」、「新型コロナウイルスの正しい知識が、頭の中で整理できました。実際の症例なども聞かせていただき、非常に勉強になりました。」などの声をいただきました。

Zoom研修に対しては「音声も聞き取りやすく、リモートでも不便を感じなかった」、「初めてのzoom研修だったが、とてもわかりやすかった」という感想が多くみられました。

初めてのZoom研修でしたが、研修会中の大きなトラブルもなく、無事に終わったことを非常にホッとしています。これから、このようなリモート研修が主流になってくると思います。かけはしいさはやでは今後もZoom研修を企画していくこととしています。



【講演概要】

1. 新型コロナウイルス感染の相談・受診の目安

- ①息苦しさ、強いだるさ、高熱などの強い症状のいずれかがある場合
- ②重症化しやすい方で、発熱や咳などの比較的軽い風邪症状
↳ 高齢者や糖尿病・心不全などの基礎疾患がある方
透析を受けている方
免疫抑制剤や抗がん剤を用いている方
- ③上記以外で、発熱や咳など比較的軽い風邪症状が続く場合

新型コロナウイルス

感染対策キーワード

M : mask

A : alcohol

S : social distance

K : kanki (換気)

2. 「新しい受診の仕方」

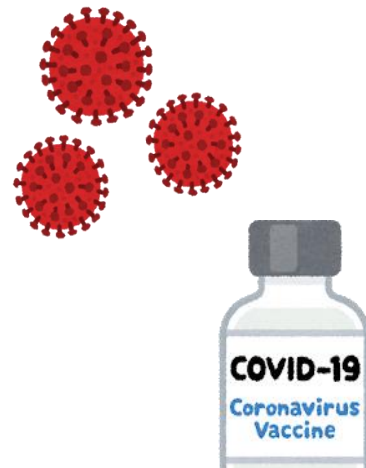
発熱がみられる場合、まずはかかりつけ医や最寄りの診療所に電話で相談をする。

相談する医療機関に迷った場合は「受診・相談センター」(0120-409-745)に電話で相談する。

3. 新型コロナウイルスの物質別残存時間

- ・エアロゾル 3時間
- ・ステンレス 42時間
- ・プラスチック(ペットボトル) 72時間

長時間ウイルスは残っているため、パーテーションパネル(アクリル板)など、必ずアルコール等で拭き上げることや換気をしっかり行うこと。



4. 感染経路

- ①ウイルスの感染経路は「目・鼻・口」しかない。
⇒ マスクやフェイスシールド、ゴーグルで経路を遮断する。
- ②「手」からは感染しないが、ウイルスの付着した手で「目・鼻・口」に触れることで感染する。
⇒ アルコール消毒・手洗い(石鹸と流水)が大事!

5. 感染リスクが高まる5つの場面

職場の休憩室・更衣室等注意!

⇒入室前にアルコール消毒、室内ではマスクを着用する。

換気ができないトイレ(電車内など)も要注意!



出典:「新型コロナウイルス感染症対策分科会から政府への提言」より

6. 新型コロナウイルスとインフルエンザ感染

(1) 感染性ピーク時期の違い

- ①季節性インフルエンザは発症後2~3日後
- ②新型コロナウイルスは発症日
⇒無症状患者の割合も高いので、無症状の方が感染を拡げてしまうリスクが高い。

(2) 致死率

- ①季節性インフルエンザ 0.1%以下
- ②新型コロナウイルス 3~4%



福島先生！

こんな時どうしたらいいですか？

Q. 利用者・患者が県外への移動または県外の親族等の接触が予定されているという場合、どう対応したらいいか？

⇒出来るだけ控えてもらう様に伝える。特にホットスポット（今なら東京・大阪・北海道）との移動・接触は控える。不要不急の予定は立てない。

Q. 家族に感染の疑いが出た場合の対応は？

⇒マスク着用・手洗いの徹底、食事時間をずらす。入浴は1番最後にし、入浴後はシャワーをかけて、浴槽等十分に洗い流す。換気も十分に行うなどの対応が必要。

Q. 訪問診療している患者が発熱・呼吸器症状もある。フルPPEで行くべきか？

⇒最低マスク・手袋・ガウンが必要。その患者が、2週間以内に県外への移動や県外在住者との接触がなかったか、事前に十分聞き取りを行い、判断する。

※フルPPEのヘッドキャップは頭を触らなければ不要。

咳がある患者との接触については、ヘッドキャップ・フェイスシールドは着用する。

Q. 訪問している患者がコロナに感染していることが、後日分かった。検査を受けた方がいいか？

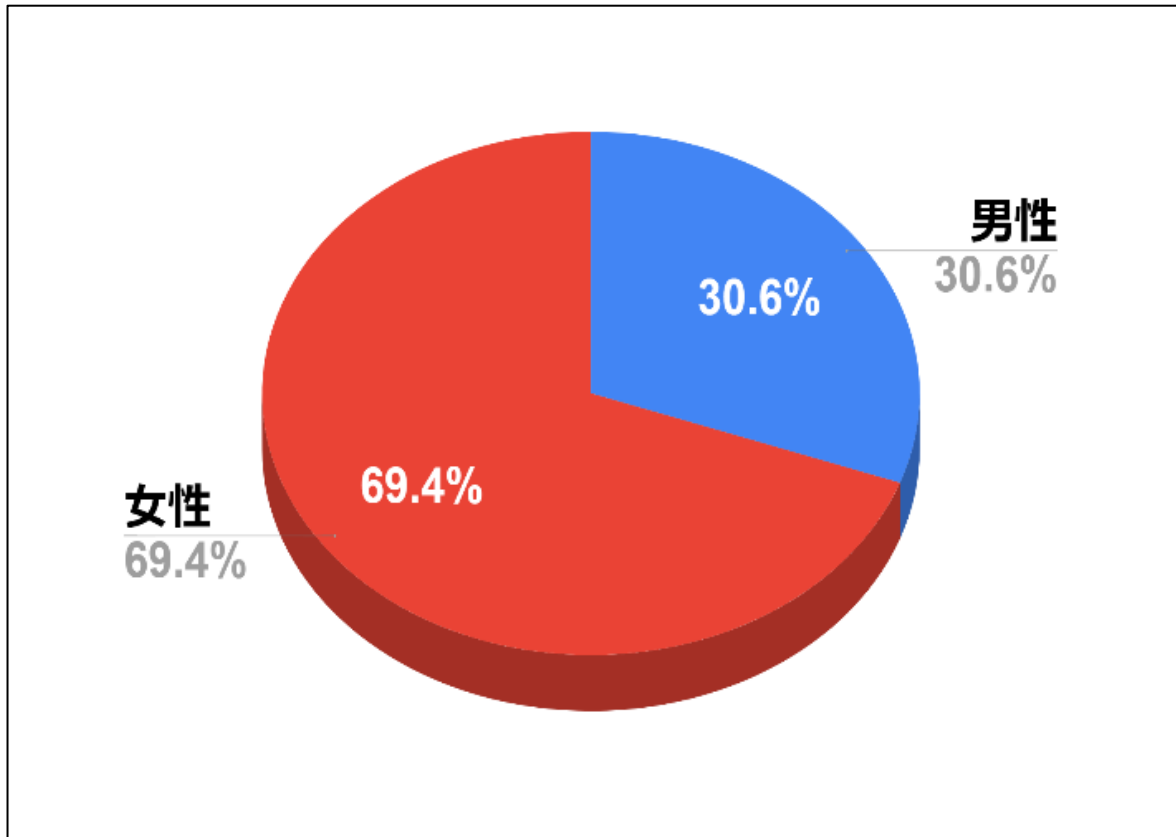
⇒フルPPEで対応していたなら感染の可能性は低い。その時の状況をよく精査し、保健所に相談する。

最後に・・・福島先生から一言

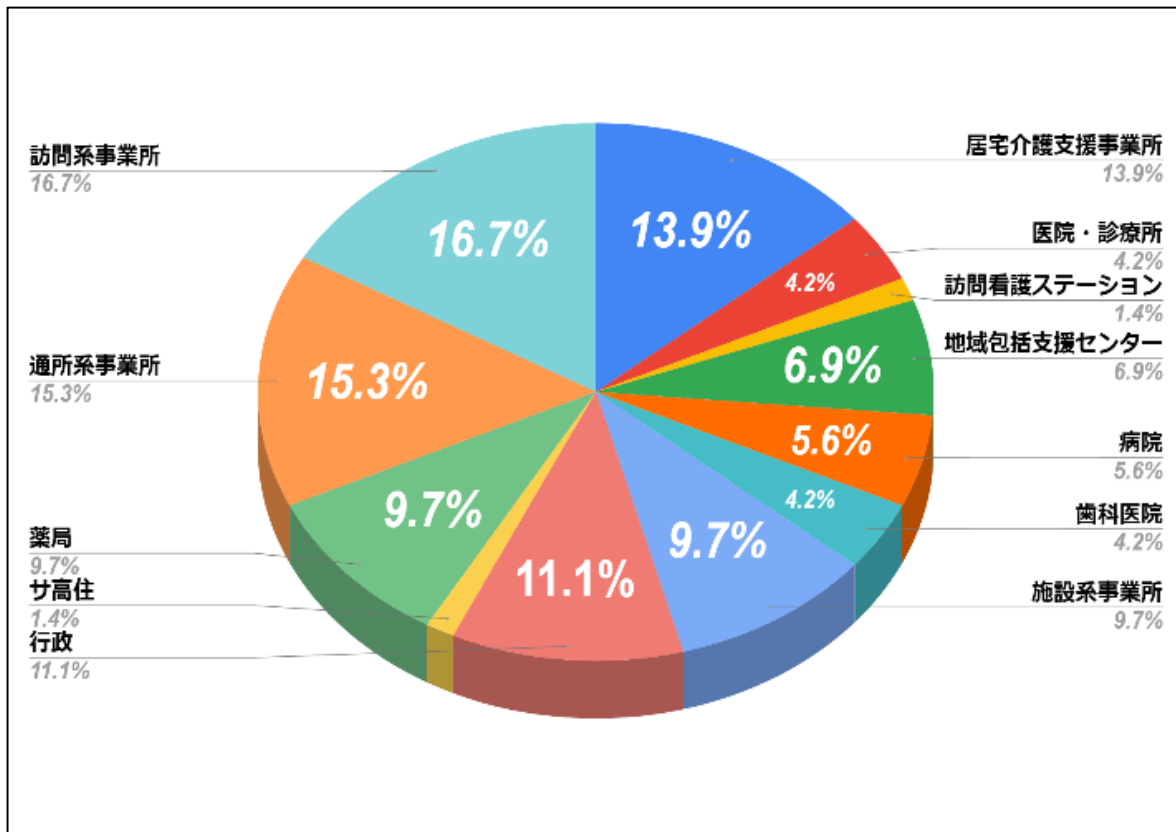
- ・「自分がウィルスを持っているかもしれない」という意識を持って、従事すること。使用した手袋はアルコール消毒して破棄、ガウンは「表不潔・裏清潔」と言いながら破棄するなど。
- ・感染対策の基本を確実に行うこと。

令和2年度「在宅医療・介護関係者研修会」アンケート集計

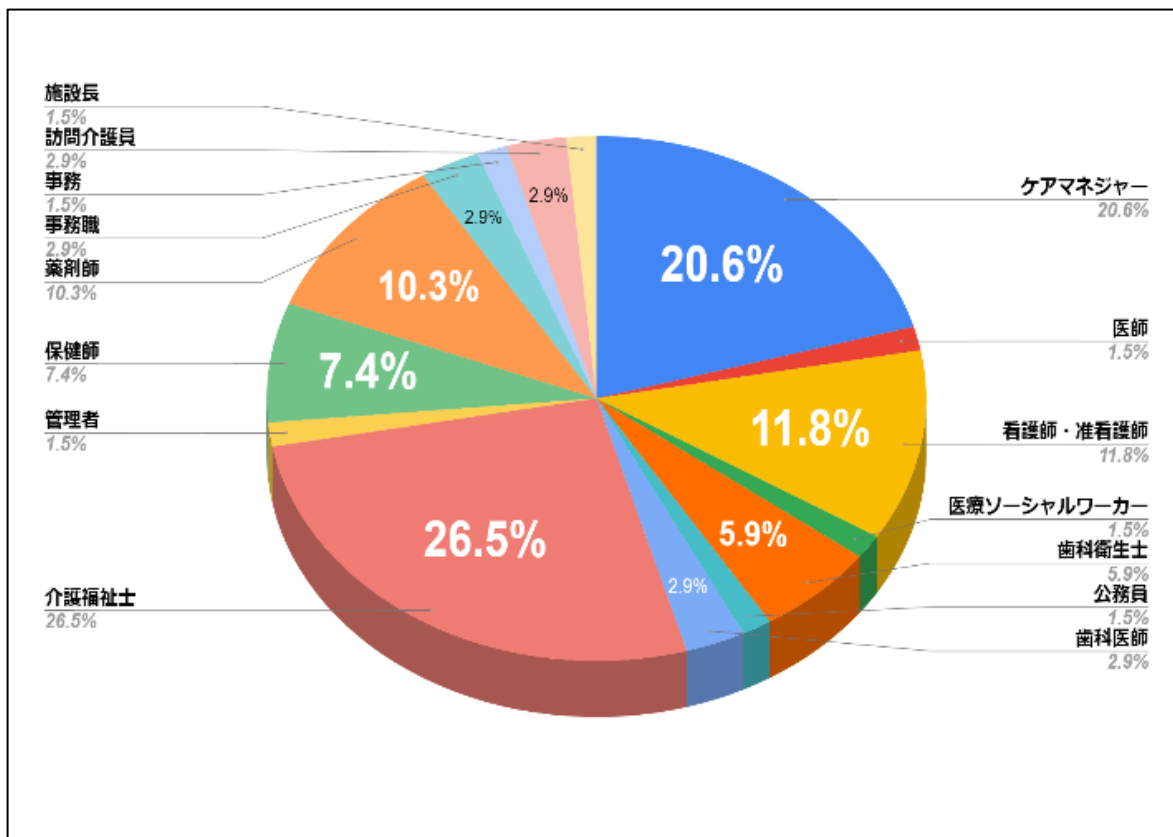
(1)性別



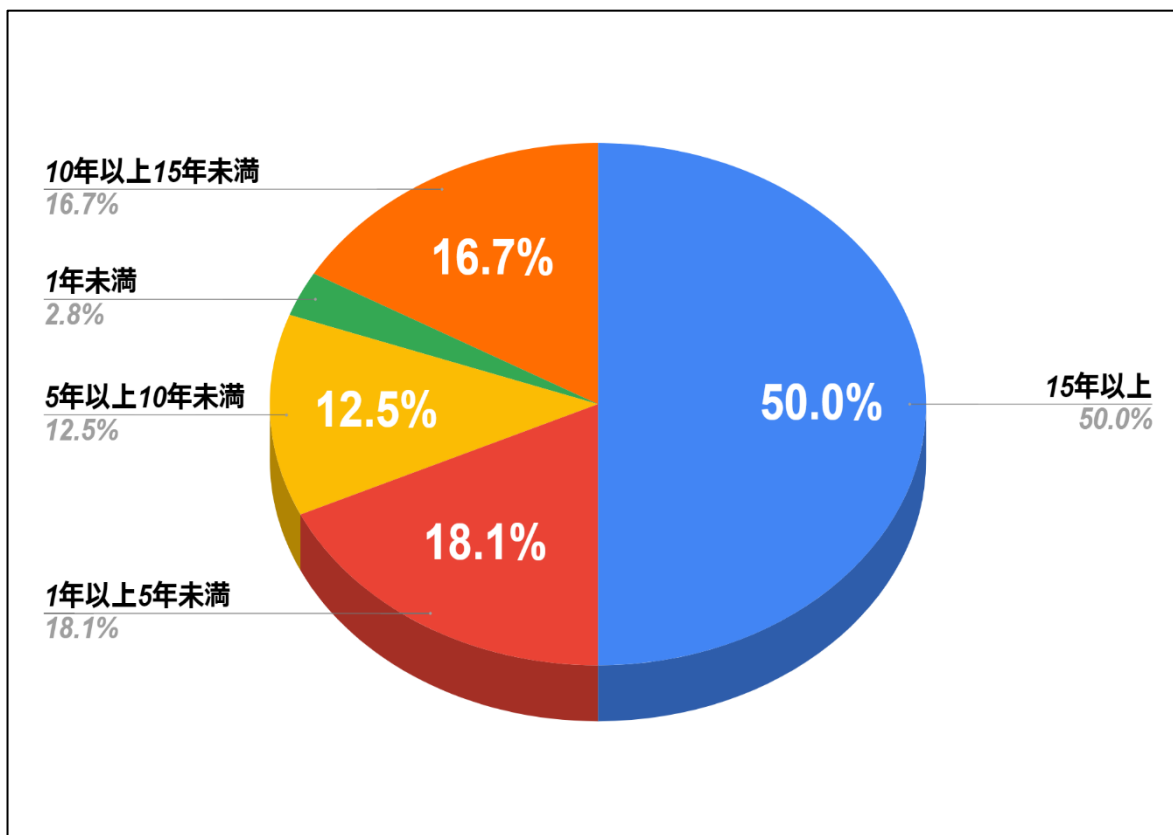
(2)所属団体



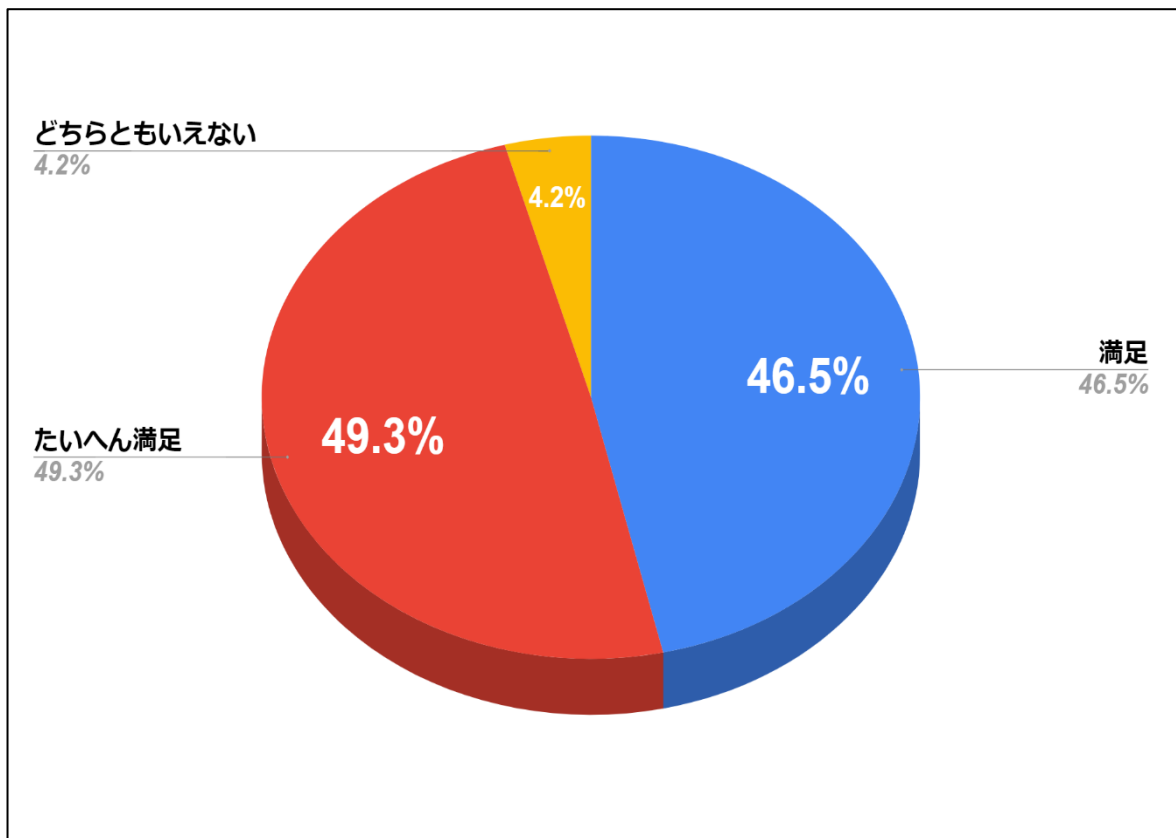
(3) 職種



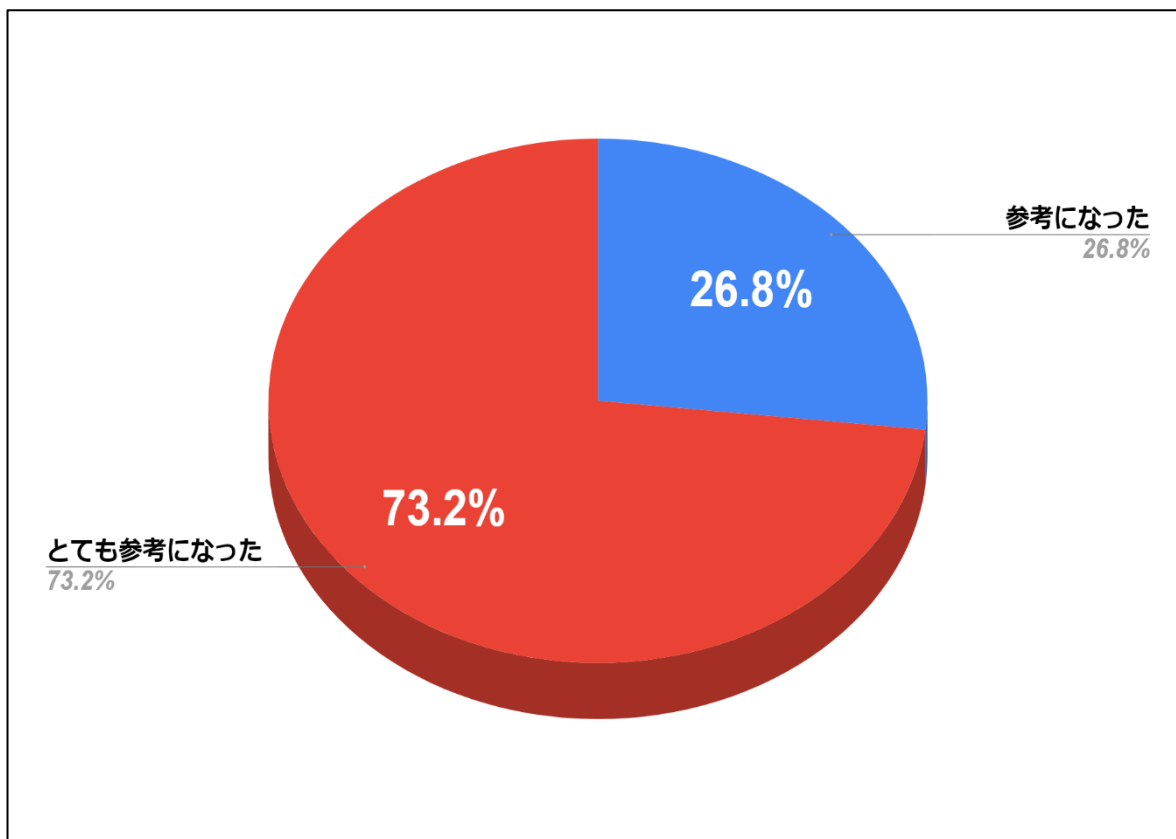
(4) 職種の経験年数



(5)本日の研修はいかがでしたか



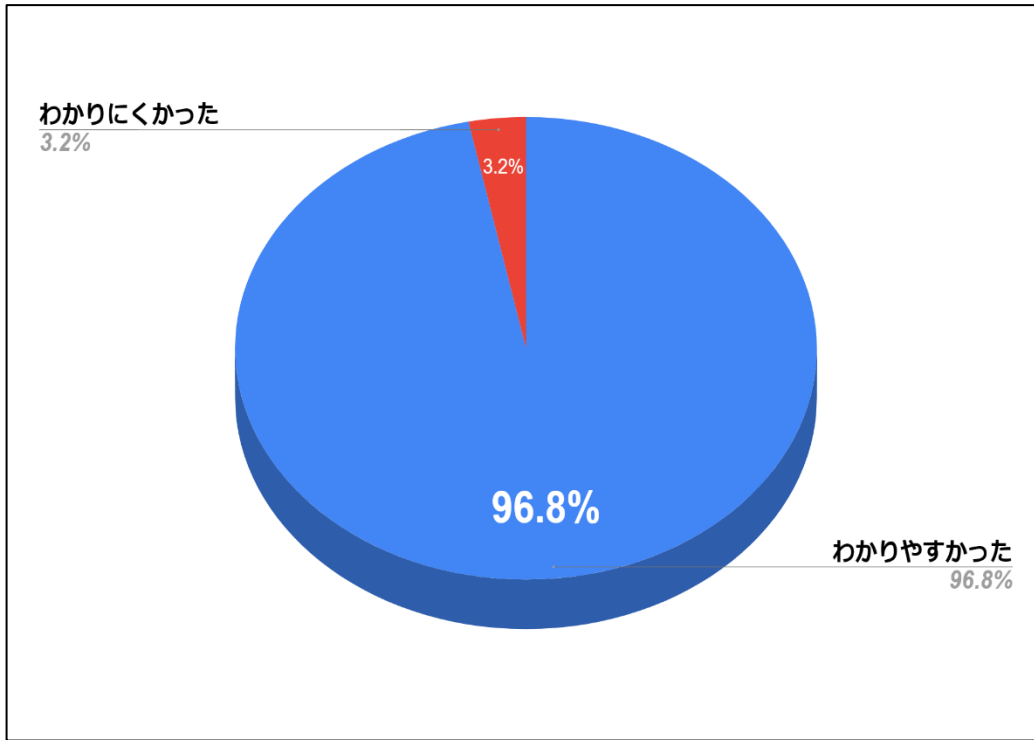
(6)研修内容について



(7)本日の研修についてのご感想をご自由にお書きください

- ・業務と私生活での感染予防に努めます。
- ・大変勉強になりました。
- ・分かりやすく、しかも、最新の長崎の感染状況もお知らせくださり、参考になりました。感染対策の解説もありがとうございました。
- ・スライドで表などもあり、理解しやすかったです。
- ・基本の診断方法や対策が聞けたことが、良かったです。
- ・諸々の情報は入ってくるものの、トータルでの研修はなかなか受けていなかったため参考になりました。危機感ばかり募っていましたが、基本は手洗い、換気、マスク、業務には加えて手袋・・・基本に戻ります。
- ・コロナについて、知っているようで知らないこともあり、研修に参加できて今後に生かします。
- ・コロナウィルスに関することを改めて理解することが出来て良かったと思います。
- ・長崎のことについての説明があったのでよかった。
- ・コロナについて漠然と理解していたことが、ずいぶん明確になって大変よかった。
- ・手元資料が欲しかったです。
- ・とても興味があることだったので、わかりやすく、今後に活かせるとおもいました。
- ・県内の動向、PCR 検査や実際の様子が分かり良かった。現場の率直な疑問に明快な回答があり、有意義な研修でした。ただ、資料があれば、受講していない職員への説明や、日頃の業務の振り返りに活用しやすいかと思います。
- ・普段は聞けない事を松尾先生が質問して下さって、大変参考になりました。
- ・初歩的なことが改めて分かりました。
- ・インフルエンザの方が致死率がコロナより高いと思い込んでいました。研修に参加して、今まで以上に感染予防に努めたいと思います。
- ・新型コロナウイルスについて、最近の県内の動向も教えていただいて、大変参考になりました。
- ・今の現状やコロナのことを詳しく知ることができて参考になりました。
- ・コロナウイルス感染症についてよくわかりました。
- ・新型コロナウイルスの正しい知識が、頭の中で整理できました。実際の症例なども聞かせていただき、非常に勉強になりました。ありがとうございました。
- ・コロナウイルスの具体的な感染防止策を学ぶことができ、改めて感染予防をしっかり行っていきたいと思った。
- ・しっかりとしたエビデンスに基づくご説明で勉強になりました。
- ・参考にして毎日に役に立てたいです。

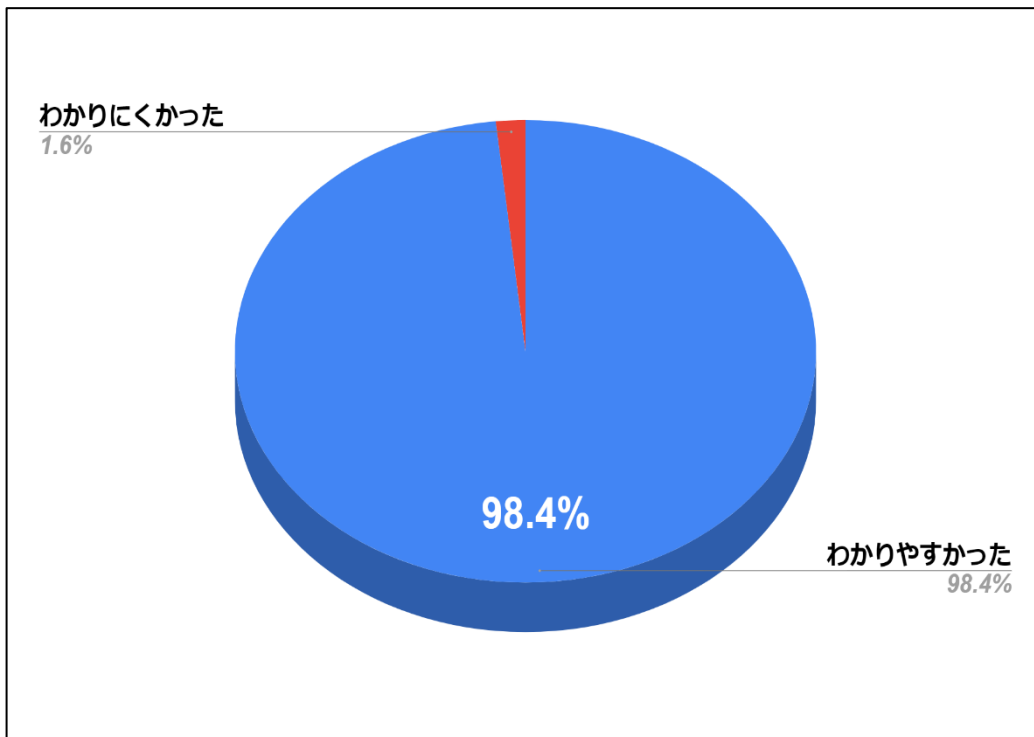
(8)申し込み案内



(9)わかりにくかった理由

- ・なにぶん不慣れなもので、システムの理解に苦勞しました。
- ・操作方法が分かりにくい。

(10)申し込み方法



(11)わかりにくかった理由

- ・上手くいくか、不安でした。

(12)zoom 研修を受けた感想やご意見などをご自由にご記入ください

- ・録音、録画できれば、もっと沢山の人と共有でき、感染対策になるかと思いました。
- ・コロナ禍での研修会には必須だと思います。
- ・なかなか慣れなくて、上手くいくか心配でした。
- ・今日のはうかがいたいお話を全て聞くことが出来ました。
- ・集中して聞くことができました。
- ・仕事場で聞けて良かった。
- ・資料がなく、メモが追いつきませんでした・・・。
- ・音声も聞き取りやすく、リモートでも不便を感じなかった。
- ・今までのズーム研修ではカメラはオン状態だったので少し違和感あり。見られていないので少しだらけるのかなと思いました。
- ・今からの時代はZoom研修が増えていくのかな・・・と思いました。
- ・大勢で集まることは困難でもこういう方法で研修ができるんだなと改めて思った。
- ・みんな一緒に見ることができるようであれば、研修会とかわらず、よかったです。
- ・受講会場までの移動がないので便利です。開始時間がもう少し早く嬉しいです。
- ・レジメンが印刷できるといいと思いました。
- ・今の集まるのが難しい中、勉強会に参加できることは良かったです。
- ・集中して話を聞くことができました。他事業所の方と一緒に会せず研修を受けられることはとても良いと思いました。
- ・スマートホンで、参加致しましたが、画像も音声も鮮明でした。
- ・集合したり移動がなく非常に参加しやすく時間の節約になります。
- ・手もとに資料かレジュメがあればよいと思った。
- ・気軽に参加できてよかったです。
- ・機器に少し苦戦をしました。
- ・オンラインでやっていただけると参加しやすいです。また今後もよろしくお願いいたします
- ・職場で多数で研修を受けることができ良かった。
- ・初めて経験したZoom研修 緊張しながらも楽しい経験でした。
- ・音声や映像が途切れることなく終えたのですごく良かったです。
- ・流れがスムーズだった 内容が盛だくさんだった。
- ・人物や説明文やグラフをもっと拡大してほしい。
- ・最後に質疑応答が出来ればしたなと思っていたが、なかったのもまた直接お聞きしてみようと思います。
- ・Zoom研修では手元に資料がないので、聞き取りや記録が難しい時に困ることがあります。手元に資料があればもっと分かりやすく勉強できると思いました。
- ・初めてのzoom研修参加でした。
- ・こちらのネットワーク状況かスピーカーの問題か分かりませんが、少々聞き取りにくい場面がありました。
- ・資料が欲しいと思いました。

- ・短い時間で沢山の情報を教えて頂き大変勉強になりました。資料があれば聞き取れなかった部分の補足が出来たかなと思います。
- ・スクリーン画面、声も鮮明で内容は良く伝わった。
- ・わかりやすく、参加しやすくよかったです。
- ・密にならずよかったです。
- ・初めての zoom 研修でしたが、とてもわかりやすかったです。
- ・ストレスが無く、効率が良かったです。
- ・医療現場を知っている先生から、遠い場所に行って聞くのではなく、近くの施設で聞くことが出来たので時間や体力の面で助かりました。
- ・メモを取っていましたが、おいつがず、資料が手元にあるといいのになと思いました。最後にカメラをオンにする操作が出来ず焦ってしまいました。
- ・使い方が簡単なので受けやすい。

(13) 今後、医療・介護関係者研修会ではどのようなテーマ（内容）を希望されますか

- ・基本の部分
- ・在宅生活におけるコロナウィルス対策の実践やACP
- ・障害との連携
- ・高齢者のかかり易い疾患や合併症、また認知症末期の症状などの研修があったらよいと思います。
- ・経腸栄養の、誤接続防止コネクタの導入スケジュールについて、理解を深め、共有できたらよいと思います。
- ・看取り
- ・世の中のニーズ
- ・看取りについて
- ・介護保険で受けれる生活支援やリハビリについて詳しく知らないので、どういうものがあるか知りたいです
- ・ACP について
- ・今回の内容のように全ての職種が関心もつ内容を継続して開催することは難しい時がくるとは思います。ですが連携という意味では、他の職種にフォーカスした内容でも知るということは大切だと思いますので色々とチャレンジして欲しいです。
- ・認知症対応の対策を希望します。多くの事例を知り、参考にしたいです。
- ・終末期医療、認知症 等
- ・ACP
- ・危険に陥りやすい高齢者関連において重点的にしたものとしてほしい
- ・これからの高齢者の向かう先はどのようになるのか、在宅か施設での生活なのか
- ・在宅医療の現状など